

厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）

分担研究報告書

オーダーメイドな肝炎ウイルス感染防止・重症化予防ストラテジーの確立に資する研究

「ウイルス肝炎の理解度に関する調査結果の分析」

研究分担者 八橋 弘 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター 院長

研究要旨 ウイルス肝炎全般、特にウイルス肝炎の感染性についての理解度を把握するために、研究班のホームページ上に、クイズ形式の問題（肝炎理解度クイズ）を掲載した。様々な背景を有する対象者が、肝炎理解度クイズに回答をおこない、その回答結果を背景ごとに集計をおこなった。肝炎理解度クイズに対する正解率は医療従事者で高く、医療関係以外の専門学生で低い傾向がみられた。

共同研究者

山崎 一美 （長崎医療センター臨床研究センター治療研究部 臨床疫学研究室室長）

A. 研究目的

一般市民、肝疾患患者、医療従事者などを対象として、ウイルス肝炎全般、特にウイルス肝炎の感染性についての理解度を把握するために調査をおこなった。

B. 研究方法

令和2年度から令和4年の期間に実施された厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）「ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究」班と、令和5年度から3年間に実施が予定されている厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）「様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究」班では、主に肝炎患者や一般市民を対象として研究班のホームページを作製し、掲示をおこない日々更新をおこなっている。

研究班のホームページでは、ウイルス肝炎の差別偏見に対応する為の情報発信をおこなうとともに、ウイルス肝炎全般、特にウイルス肝炎の感染性についての理解度を把握するために、クイズ形式の問題（肝炎理解度クイズ）を掲載している。

様々な背景を有する対象者が、肝炎理解度クイズに回答しているが、今回、回答者の属性別に正解率の平均値の集計と分析をおこなった。

なお、本研究計画は、長崎医療センター倫理審査委員会で承認されている。（承認番号 2021023）

C. 研究結果

2021年8月2日から2024年1月14日までの期間に、研究班のホームページのクイズ形式の問題（肝炎理解度クイズ）に回答した者は1020名であった。今回、回答者の属性別に正解率の平均の集計をしたところ、図のような結果となった。全般的医療従事者で

正解率が高く、医療関係以外の専門学生で低い傾向がみられた。なお、歯科医と歯科衛生士の正解率も、医療関係以外の専門学生と同等の正解率であったが、対象者数が少ないことから一般化することはできず、今

回は参考までに留めた。

今回の属性別の集計では、対象者数にバラツキがあることから統計学的な解析まではおこなわず、正解率の平均値のばらつきを把握する程度にとどめた。

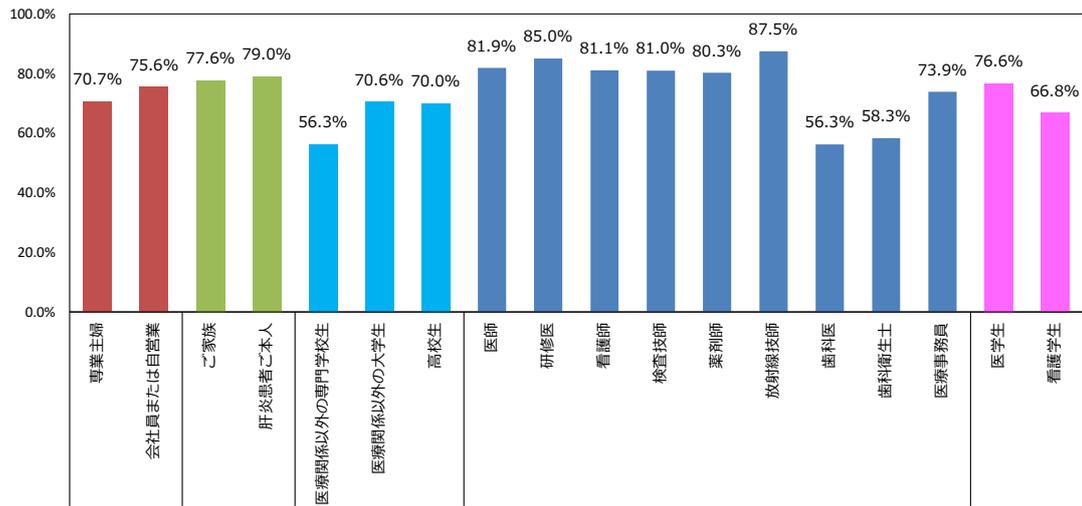


図. 肝炎理解度クイズ 属性別平均正解率 (N=1020)

D. 考察と結論

ウイルス肝炎全般、特にウイルス肝炎の感染性についての理解度を把握するために、研究班のホームページ上に、クイズ形式の問題(肝炎理解度クイズ)を掲載した。様々な背景を有する対象者が、肝炎理解度クイズに回答をおこない、その回答結果を背景ごとに集計をおこなった。肝炎理解度クイズに対する正解率は医療従事者で高く、医療関係以外の専門学生で低い傾向がみられた。

E. 健康危険情報

なし。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし。
2. 学会発表
なし。

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。
3. その他
なし。